

中学校 技術・家庭科（家庭）採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1	(ア)		順序は問わない。 2つとも合っているものだけを正答とする。	3	
		(エ)				
	2	(1)	水素原子が炭素の二重結合をはさんで、それぞれ反対側に いている構造。		内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	5
		(2)	(ウ)	順序は問わない。	各 2 × 2	
	(オ)					
	3	記号	ア	順序は問わない。	各 2 × 2	
		ウ				
		理由	ゼラチンはたんぱく質が主成分であることから、たん ぱく質分解酵素を含むリンナップルやキウイフルーツ を生そのまま加えると、加水分解によりゼラチン分子が低 分子化し、凝固力が弱くなるため。		内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	6
	4	(1)	必要量	400	内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	2
			求め方	$200 \times \frac{100}{100-50}$		3
(2)		①	1	内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	各 3 × 2	
		②	$2\frac{1}{2}$			
2	1	(イ)		順序は問わない。	各 2 × 3	
		(エ)				
		(オ)				
	2	(1)	2歳の幼児は、言語能力が不十分であるため、言葉で自分の 気持ちをうまく表現することができないため。		内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	6
		(2)	保育者は仲介役として子供の気持ちを落ち着かせるように 言葉かけをしたり、子供同士が納得して、葛藤を乗り越えられ るように、出来事の経緯を聞いて解決策を提案したりする。		内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	6
	3	(1)	マタニティマーク		2	
(2)		妊産婦が交通機関等を利用する際に身に付け、周囲が妊産婦 への配慮を示しやすくするものである。さらに、交通機関、職 場、飲食店、その他の公共機関等が、その取組や呼びかけ文を 付してポスター等として掲示し、妊産婦にやさしい環境づくり を推進するものである。		内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	6	
3	1	(1) 国際規格との整合性を図るため。		内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	4	
		(2)	(ア)	著作権保護の観点により、掲載いたしません。	各 3 × 3	
			(イ)			
	(ウ)					
	2	洗濯用洗剤の主成分は陰イオン界面活性剤で、柔軟仕上げ剤 の主成分は陽イオン界面活性剤である。 柔軟仕上げ剤と洗剤と一緒に使用すると、柔軟仕上げ剤中の 陽イオン界面活性剤が、洗剤中の陰イオン界面活性剤と結合 し、洗剤の洗浄力が落ちるため。		内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	8	

3 3

2 6

4 5

中学校 技術・家庭科（家庭）採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点
3	3	ア	掛衿	掛襟, 共衿, 共襟 もよい。	各 2 × 5
		イ	振り		
		ウ	前身頃		
		エ	衿		
		オ	衿	襟 もよい。	
	(2)	名称	居敷当て	居敷当 もよい。	2
		目的	補強のため。	内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	3
		(3)	背縫い	内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	3
		(4)	①	柄が二つ横に並ばないようにする。	内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。
	②		後ろ全部の柄の向きが逆さにならないようにする。		
4	1	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものは必要な量だけ買う。 使い捨て商品ではなく、長く使えるものを選ぶ。 包装がないものを最優先し、次に最小限のもの、容器は再使用できるものを選ぶ。 作るとき、使うとき、捨てるとき、資源とエネルギー消費の少ないものを選ぶ。 化学物質による環境汚染と健康への影響の少ないものを選ぶ。 自然と生物の多様性を損なわないものを選ぶ。 住んでいる地域の近くで生産・製造されたものを選ぶ。 作る人に公正な分配が保証されるものを選ぶ。 リサイクルされたもの、リサイクルシステムのあるものを選ぶ。 環境問題に熱心に取り組み、環境情報を公開しているメーカーや店を選ぶ。 		3つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	各 4 × 3
		2	消費者の権利の尊重		
	消費者の自立支援				
	3	(1)	注文されていない商品を一方的に送り付け、消費者に代金を支払わせようとする商法のこと。		内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。
(2)		消費者が、個々の特性と消費生活の多様性をお互いに尊重しつつ、自らの消費生活に関する行動が現在及び将来の世代にわたって国内外の社会経済情勢や地域環境に影響を及ぼし得るものであることを自覚して、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会のこと。		内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	7
					30

中学校 技術・家庭科（家庭）採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点															
5	1 環境共生住宅		5															
	2	イ	順序は問わない。	各 3 × 3														
		エ																
		オ																
	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 課題意識をもつ。</td> <td>○ 資料に示した設定した家族の祖母がいない場合の住まいの空間の使い方を想定させ、いっしょに住むことになれば、部屋の数が足りないことから課題意識をもたせる。</td> </tr> <tr> <td>2 図中のA～Dの中から自分が使いたい空間とその理由を考え、空間選びのポイントを確認する。</td> <td>○ 選んだ理由を発表させ、空間選びのポイントの妥当性を確認する。 ・広さ ・明るさ ・収納 など</td> </tr> <tr> <td>3 資料に示した設定した家族それぞれの願いを考えながら、家族みんなが居心地のよい配置を考える。</td> <td>○ 家族によって願いや考えが異なり、それによって住まいの空間の使い方も変わってくることを気付かせる。</td> </tr> <tr> <td>4 個人で考えたことをもとにグループで話し合う。</td> <td>○ 考える視点や見方を広げていく。 ・他空間との距離 ・プライバシー ・祖母の身体的特徴 など</td> </tr> <tr> <td>5 話し合いをもとに、自分なりの根拠をもって、考えをまとめる。</td> <td>○ グループの交流から得た意見を参考に、ワークシートにまとめさせる。</td> </tr> <tr> <td>6 本時の振り返りをする。</td> <td>○ 家族への思いやりや配慮が住まいの空間の使い方を決定していくことをおさえる。</td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意事項	1 課題意識をもつ。	○ 資料に示した設定した家族の祖母がいない場合の住まいの空間の使い方を想定させ、いっしょに住むことになれば、部屋の数が足りないことから課題意識をもたせる。	2 図中のA～Dの中から自分が使いたい空間とその理由を考え、空間選びのポイントを確認する。	○ 選んだ理由を発表させ、空間選びのポイントの妥当性を確認する。 ・広さ ・明るさ ・収納 など	3 資料に示した設定した家族それぞれの願いを考えながら、家族みんなが居心地のよい配置を考える。	○ 家族によって願いや考えが異なり、それによって住まいの空間の使い方も変わってくることを気付かせる。	4 個人で考えたことをもとにグループで話し合う。	○ 考える視点や見方を広げていく。 ・他空間との距離 ・プライバシー ・祖母の身体的特徴 など	5 話し合いをもとに、自分なりの根拠をもって、考えをまとめる。	○ グループの交流から得た意見を参考に、ワークシートにまとめさせる。	6 本時の振り返りをする。	○ 家族への思いやりや配慮が住まいの空間の使い方を決定していくことをおさえる。	<p>問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。</p>	4 1 2 7
		学習活動	指導上の留意事項															
		1 課題意識をもつ。	○ 資料に示した設定した家族の祖母がいない場合の住まいの空間の使い方を想定させ、いっしょに住むことになれば、部屋の数が足りないことから課題意識をもたせる。															
		2 図中のA～Dの中から自分が使いたい空間とその理由を考え、空間選びのポイントを確認する。	○ 選んだ理由を発表させ、空間選びのポイントの妥当性を確認する。 ・広さ ・明るさ ・収納 など															
		3 資料に示した設定した家族それぞれの願いを考えながら、家族みんなが居心地のよい配置を考える。	○ 家族によって願いや考えが異なり、それによって住まいの空間の使い方も変わってくることを気付かせる。															
		4 個人で考えたことをもとにグループで話し合う。	○ 考える視点や見方を広げていく。 ・他空間との距離 ・プライバシー ・祖母の身体的特徴 など															
5 話し合いをもとに、自分なりの根拠をもって、考えをまとめる。	○ グループの交流から得た意見を参考に、ワークシートにまとめさせる。																	
6 本時の振り返りをする。	○ 家族への思いやりや配慮が住まいの空間の使い方を決定していくことをおさえる。																	
1	自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 2															
	販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること。																	
2	調理実習を中心とし、主として地域又は季節の食材を利用することの意義について扱うこと。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 2															
	地域の伝統的な行事食や郷土料理を扱うこともできること。																	
3	計画、実践、評価、改善などの一連の学習過程を適切に組み立て、生徒が段階を追って学習を深められるようにすること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5															